

交流を深める

遠足・社会見学

交流を深めるために、毎年恒例として企画されている遠足・社会見学が4月に行われた。

普通科1年生と看護科1・2年生はグリーンランド朝明(三重県菟野町)に飯盒炊飯に。普通科2年生は多度山(三重県桑名市)ハイキング。3年生は社会見学として大学・専門学校・企業見学に出かけた。



多度山 ハイキング 普通科2年生

普通科2年生は、春の遠足で初の多度山ハイキングに臨んだ。心配された天候も回復し、晴天の中、汗を流しながら頂上を目指した。

弱音を吐きながら登る者、景色を楽しむ者、「バツクウー！」を合図に坂道ダッシュを繰り返す者。雑木林の中を登る者まで登場。

頂上では、お弁当に舌鼓を打った後、クラス対抗のレクリエーションに盛り上がった。帰りのスクールバスの中は、心地よい達成感に満ち溢れた寝息が、そこそこ聞こえていた。



遠足感想

衛生看護科1年生

とてもよい天気、2名欠席者がいたが、予定通り出発でき、高速も思ったより渋滞せずに行くことが出来てよかった。桜が散り始めていたが、山々



に囲まれ、空が高く、空気がとてもおいしく思えた。

現地に着いて、キャンプ場の方の説明はとてもわかりやすく、順調に飯盒とカレーの鍋を火にかけることが出来た。途中、飯盒や鍋の向きを変えたり、飯盒の蓋から出る泡に注意したりした。カレーの鍋が焦げないように、熱いけど何度もお玉で混ぜてくれる班の仲間

「さりげないやさしさ」

とても嬉しかった

間を見てみると、「一生懸命すること」の大切さを改めて感じることが出来た。

ご飯も炊けて、カレーも煮え、器に盛り付けるとき、2年生の先輩が率先して、

「さりげないやさしさ」を感じ、とても嬉しかった。カレーは、味が少し薄かったけれど、お腹も満腹になり、心も満腹になれたような気がする。

……食後の片付けの時には、誰もが自然と手を出し、声を掛け合えるようになっていた。

ほんの1日の短い間だったけれど、気持ちのよい一日を過ごすことができ、これからの学校生活が楽しみになってきた。

描いている君

卒業生 大活躍

13季ぶりに1部リーグに昇格した東海学園大学が、佐藤康平投手(2年・弥富)の5安打完封の快投で昨春の覇者・中部大に1対0で連勝した。

佐藤5安打完封

守り抜いた。東海学園大の先発左腕・佐藤は昨春の覇者・中部大を5安打完封。「大学では始めての完封。昨春は肩の故障で投げられなかっただけに本当にうれしい」1回戦の田島の200球完投勝利に続いた。同じ2年生。「負けたくない」という思いを心の奥底に封印しながらの投球だった。「僕は田

愛知大学野球

島のようないままでの活躍と自認する鈴木保監督の喜びは大きい。「思い描いていた通りの投球してくれた。守りもよく頑張った」。2回の適時打が決勝点となった。

田島、佐藤と、2年生左右両腕の連日の活躍。リーグで一番弱いと目される鈴木保監督の喜びは大きい。「思い描いていた通りの投球をしてくれた。守りもよく頑張った」。2回の適時打が決勝点となった。

左腕・佐藤が原動力

7年ぶりに東海学園大が挙げた勝ち点1。原動力となったのは2年生左腕、佐藤だった。5安打1四球の力投で昨春の覇者に得点を許さなかった。

開幕戦も任されたが、0対2で惜敗。前日の1回戦では同じ2年の田島が完投し、「いつも通りに投げれば、自分も勝てるはず」と自らに言い聞かせて試合に臨んだ。

「こういうゲームで勝てるのはうれしい」と鈴木監督。佐藤は「これから勝ち続ける方が大切」と早くも次戦を見据えた。

中日スポーツ新聞

東海学園大 中部大に連勝 13季ぶり 1部勝ち点

